

腹腔-静脈シャント術の成績調査に関する研究

1998年から2016年までに腹腔-静脈シャント術（デンバーシャント[®]術）を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「肝切除術後の短・長期予後調査」という研究を行います。この研究は、1998年01月01日より2016年12月31日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて、腹腔-静脈シャント術（デンバーシャント[®]術）を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：腹腔-静脈シャント術の成績調査
研究期間：2017年3月29日（倫理委員会承認日）～2024年03月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 消化器外科 青木 悠人

(2) 研究の意義、目的について

腹腔-静脈シャント術（デンバーシャント[®]術）は合併症などのリスクの高い手術です。しかし、どのような患者さんのリスクが特に高いか、それを予防するにはどうしたらよいか、未だ解明されていないことも多くあります。この研究では、当院で腹腔-静脈シャント術を受けられた患者さんの手術前後の経過を解析し、今後腹腔-静脈シャント術（デンバーシャント[®]術）をより安全に施行できるようすることが目的です。

(3) 研究の方法について

1998年01月01日より2016年12月31日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて、腹腔-静脈シャント術（デンバーシャント[®]術）を受けられた患者さんの手術前後の臨床経過や検査結果、術中所見などを集積・解析し、腹腔-静脈シャント術（デンバーシャント[®]術）の予後因子について検証します。この研究のために検査を追加したり、ご来院いただいたりする必要はございませんが、長期間ご来院がなく現在の状況がわからない場合、お電話やお手紙にて状況を確認させて頂く場合があります。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 消化器外科 助教 青木 悠人
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6752
メールアドレス：yutoaoki@nms.ac.jp